

【加賀市行政評価『公開外部評価会』評価結果】

○日程： 11月6日 午前の部

【第1テーマ】 分野： 都市基盤

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
地域間ネットワークの整備を進めます			
都市計画道路整備事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備における費用対効果については、交通量調査等によりその効果を判断すること。また、老朽化対策も同様に、その有用性と経済効果を考慮して進めること。 ・新幹線加賀温泉駅や広場等の整備については、観光面だけでなく、市民の意見も十分に取り入れ、その利便性の向上を図ること。
加賀温泉駅前活性化対策事業	継続		
市道A第172号線 (大聖寺上木町～三木町) (主要道路新設改良(補助))	継続		

【第2テーマ】 分野： 観光

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
自治体外交を進めます			
海外都市交流事業	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の受け入れ環境の整備をさらに進め、広い視野からの海外誘客を図ること。 ・市民の理解促進を図るために、「インバウンド」等の用語については、分かりやすい言葉を用いこと。 ・民間レベルでの更なる交流促進を図ること。 ・パンフレット等の作成については、加賀市の魅力が伝わるように、市外からの観光客はもとより外国人の目線による検証も実施すること。
インバウンド戦略事業	拡充		
国際力のある地域づくり事業	拡充		

【第3テーマ】 分野： 観光

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
「共創」環境の構築を進めます			
三温泉観光誘客助成事業	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱泉源整備の助成にあたっては、それぞれの温泉地の特色や状況を十分に踏まえ、支援を行うこと。 ・観光地の景観整備については、環境面への配慮をしながら、「点」の整備ではなく、散策できるような「線・面」での整備を意識すること。 ・芸妓文化は歴史があるものであり、金銭面の支援だけではなく、文化として継承できるような支援策を検討すること。 ・加賀市の多種多様な魅力については、三温泉の特色を活かしつつ、加賀温泉郷全体としても情報発信していくこと。
芸妓活動支援事業	拡充		
山代温泉観光地景観保全助成事業	継続		

【加賀市行政評価『公開外部評価会』評価結果】

○日程： 11月6日 午後の部

【第4テーマ】 分野：健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			
在宅医療介護連携推進事業	継続	適切	・ICTの更なる活用により、在宅医療・介護の一層の連携強化を図ること。
地域医療推進事業	継続		
医師招へい推進策事業	拡充		

【第5テーマ】 分野：健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			
介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防・生活支援サービス)	拡充	適切	・介護予防・日常生活支援総合事業(生活支援サービス事業等)の内容について、更なる市民への理解促進を図ること。
地域介護予防支援委託事業	継続		
高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業	継続		

【第6テーマ】 分野：健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
健康な心と体の育成(重点)			
こころの健康づくり対策事業	継続	適切	・健康な心と体の育成の取組体制において、庁内の横の連携を図ること。

【第7テーマ】 分野：自然環境

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
「ガーデン・シティ構想」を進めます			
ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	継続	適切	・市のイメージアップにつながるよう、駅やインターチェンジ周辺での花壇整備等、積極的に展開すること。
クリーンビーチ・インかが開催／海岸清掃助成事業	継続		

【加賀市行政評価『公開外部評価会』評価結果】

【第8テーマ】 分野： 自然環境

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます			
ラムサール条約登録範囲拡大事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・市のブランドイメージを高めるため、登録湿地拡大に向け積極的に取り組むこと。 ・小学・中学・高校生らにも調査等の協力を得て、市民全体の取り組みとして行くことを検討すること。

【第9テーマ】 分野： 教育

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます			
加賀温泉郷マラソン開催事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン以外の市民スポーツへの取り組みを検討すること。
スポーツ推進計画策定事業	廃止		

【第10テーマ】 分野： 教育

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
地域の文化の高揚(重点)			
文化財の適正管理	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理のみならず、市民や市外に対しての展示手法について見直しを図り、地域の宝を積極的に公開すること。

平成28年度 加賀市行政評価
「公開外部評価会」 評価テーマ一覧

日	時刻	分野（政策）	テーマ（施策）	事務事業名	担当部（局）	評価委員
11月6日（日）	午前の部 9:00～12:00	都市基盤	1. 地域間ネットワークの整備を進めます	都市計画道路整備事業	建設部 (都市計画課・土木課)	(委員長) 北陸大学 武田 幸男 加賀市観光交流機構 田向 公一 加賀農業協同組合 中村 眞 環境保全審議会 谷 武則 加賀市PTA連合会 三谷 修司 市民公募 伴 正幸 市民公募 竹本 利夫 市民公募 平井 郁雄
				加賀温泉駅前活性化対策事業		
				市道A第172号線(大聖寺上木町～三木町) (主要道路新設改良(補助))		
	観光	2. 自治体外交を進めます	海外都市交流事業	観光戦略部 (観光交流課)		
			インバウンド戦略事業			
			国際力のある地域づくり事業			
	3. 「共創」環境の構築を進めます	三温泉観光誘客助成事業	観光戦略部 (観光交流課)			
		芸妓活動支援事業				
		山代温泉観光地景観保全助成事業				

昼休み (12:00 ～ 13:30)

11月6日（日）	午後の部 13:30～16:30	健康・福祉	4. 医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます	在宅医療介護連携推進事業	健康福祉部 (地域医療推進室) 市医療センター (企画経営課)	(委員長) 北陸大学 武田 幸男 加賀青年会議所 吉田 有志 加賀市老人クラブ連合会 松本 吉弘 加賀商工会議所 西出 正光 山中商工会 西出 克己 加賀農業協同組合 中村 眞 市民公募 伴 正幸 市民公募 竹本 利夫 市民公募 平井 郁雄
				地域医療推進事業		
				医師招へい推進策事業		
		5. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます	介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防・生活支援サービス事業)	健康福祉部 (地域包括支援センター)		
			地域介護予防支援委託事業			
			高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業			
		6. 健康な心と体の育成(重点)	こころの健康づくり対策事業	健康福祉部 (健康課)		
			7. 「ガーデン・シティ構想」を進めます	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	市民生活部 (生活安全課)	
		クリーンビーチ・インかが開催／海岸清掃助成事業				
		自然環境	8. ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます	ラムサール条約登録範囲拡大事業	経済環境部 (環境政策課)	
9. 生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます	加賀温泉郷マラソン開催事業			教育委員会 (スポーツ課)		
	スポーツ推進計画策定事業					
教育	10. 地域の文化の高揚(重点)	文化財の適正管理	教育委員会 (文化財保護課)			

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	都市基盤	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	1. 地域間ネットワークの整備を進めます		
事務事業	①	都市計画道路整備事業	
	②	加賀温泉駅前活性化対策事業	
	③	市道A第172号線(大聖寺上木町～三木町) (主要道路新設改良(補助))	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	都市計画道路整備事業				整理番号	B201
	事業内容	円滑な交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、次の都市計画道路に関する整備事業を実施する。 (1)市施行加美谷線の道路改良工事及び舗装工事を完了する。 (2)県施行山代粟津線及び温泉中央南線の測量及び調査を完了し用地買収を進める。 (3)山中地区の関係住民が参加する協議会で、都市計画道路の見直しと、道路事業に伴う住民主体のまちづくり計画を検討する。				H27決算額(千円)	201,192
	内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	継続	加美谷線は昭和37年に都市計画決定された後、順次整備を進め今回の事業完了により全線2.4kmが完成した。県施行2路線は地権者の協力を得て用地買収を進めた。また、まち中での道路事業は、沿道まちづくりと同時に実施することが事業効果を高めるので、引き続き都市計画道路の見直しと沿道整備を、住民とともに検討し事業の準備を進める。	
	費用対効果	高い					
②	事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業				整理番号	B208
	事業内容	平成34年度末の北陸新幹線金沢敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。 H27年度は、4回の検討委員会を開催し、加賀市の玄関口としてふさわしい駅舎となるよう、北陸新幹線加賀温泉駅舎デザインコンセプトを策定した。				H27決算額(千円)	3,627
	内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	継続	平成28年3月に加賀温泉駅駅舎デザインコンセプトを策定し、平成28年6月29日に鉄道・運輸機構に要望書として提出した。今後は平成28年度中に加賀温泉駅施設整備基本計画を策定し、加賀温泉駅舎内部及び駅周辺のバス・タクシー等の交通施設、観光案内所等の都市施設の配置計画等を立てる。	
	費用対効果	高い					
③	事務事業名	市道A第172号線(大聖寺上木町～三木町) (主要道路新設改良(補助))				整理番号	B203
	事業内容	生活環境の改善と交通安全の向上を目指し、併せて地域間の交流促進を図るため、大聖寺川に架かる橋梁の上部を架設し、本路線の道路改良及び全線の舗装工事を施工し、平成28年3月に供用を開始した。				H27決算額(千円)	246,978
	内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	廃止	平成27年度で事業完了	
	費用対効果	高い					
財源		国・県支出金		起債		一般財源	
H27決算額(千円)		170,000		259,200		22,597.0	
						計	
						451,797	

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

その他・備考

加賀温泉駅舎デザインコンセプト検討委員会

第1回検討委員会 平成27年7月15日開催

第2回検討委員会

平成27年10月1日開催

第3回検討委員会 平成28年1月28日開催

第4回検討委員会

平成28年3月25日開催

計 4回開催

大聖寺ふれあい広場古九谷の杜の管理について

- ・樹木及び芝生の管理については、造園業者と年間の管理契約をし管理を行っている。
- ・トイレの清掃管理も、業者委託により週1回程度の清掃管理を行っている。
- ・公園の日常管理については、シルバー人材センターと一人契約し、週5～6日の日常管理を行っている。

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	観光	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	2. 自治体外交を進めます		
事務事業	①	海外都市交流事業	
	②	インバウンド戦略事業	
	③	国際力のある地域づくり事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	海外都市交流事業			整理番号	F302	
	事業内容	<p>海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンドの推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。</p> <p>台湾との交流では、4月に加賀温泉郷マラソンに参加するため観光交流都市の高雄市から12名のランナーが参加。6月には友好都市台南市より市長及び観光関係者等26名が来市し観光地の視察や市内団体との交流を行った。10月に台湾まつりin加賀市として台北市立国楽団の音楽公演とともに、台湾グルメ屋台を出店し文化交流を行った。1月に桃園市及び台中市を訪問し、友好交流の推進について協議を行った。2月に台湾関係者及び育桜会約50名が来市し、桜の苗木の寄贈をうけ、地元の市民とともに柴山潟湖畔への合同植樹を行った。</p> <p>シンガポールとの交流では、6月にSST中学校の副校長及び部長が加賀市を訪問し、教育交流の実現に向け協議を行った。また、2月にはシンガポール最大の国際的祭典であるチンゲイパレードに山代大田薬が参加し、加賀温泉郷のPRを行った。</p>				H27決算額 (千円)	9,235
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	<p>台湾の友好都市とは、観光や物産、スポーツ、文化、教育など様々な分野で確実に交流が進んでおり、また、新たな交流先として桃園市との友好協定締結に向け協議を行うなど、交流人口の更なる拡大とインバウンド誘客推進が図られた。</p> <p>また、シンガポールとの交流では、SST中学校と協議を進め、次年度以降の教育交流の実現へとつながった。</p>	
	費用対効果	高い					
②	事務事業名	インバウンド戦略事業			整理番号	F303	
	事業内容	<p>外国人観光客が訪れやすい観光地づくりを行うとともに、海外に向けて積極的なPRを図ることで海外からの誘客を図り、温泉地の活性化に繋げる。</p> <p>平成27年度は、海外での誘客事業として、台南市において金沢加賀工芸展(台南新光三越)を開催し、市内事業者が加賀市の物産及び観光をPRした。また、5月には高雄国際トラベルフェア、12月には大台南国際トラベルフェアへ加賀温泉郷ブースを出展し現地の方々へPRを行った。</p>				H27決算額 (千円)	8,851
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	<p>海外友好都市における観光PR会の実施や多くの一般市民が来場する国際旅行博への出展など、友好関係を活かした効果的な誘客促進により、宿泊地としての加賀温泉郷の認知度向上が図れた。</p> <p>また、民間事業者におけるWIFI等の受け入れ環境整備が進み、外国人旅行者の満足度向上につながった。</p>	
	費用対効果	高い					

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

	事務事業名	国際力のある地域づくり事業				整理番号	F307
③	事業内容	<p>定住外国人や外国人観光客の増加など、地域に広がる国際化の需要に幅広く対応し、国際力のある地域づくりを目指す。</p> <p>平成27年度は、市の海外都市交流事業やインバウンド推進事業に係る通訳支援や交流に係る支援を行ったほか、増加する外国人労働者等への日本語学習機会の提供として、日本語教室を開催。平成26年度養成した新規ボランティアを活用することで、より多くの学習機会の提供を図った。また、市民の国際理解を推進する目的で、外国語教室(英語、韓国語)を引き続き通年にて開講した。</p> <p>また、石川県国際観光課と連携し、海外メディアの視察・取材の受入れや国際修学旅行による市内の小中学校での交流の受け入れ等、国際交流、インバウンド誘客に係る支援を行った。</p>				H27決算額 (千円)	3,485
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	外国語教室や日本語教室は広報活動の強化により参加者の拡大が図られた。また、海外都市交流事業及びインバウンド推進事業において、通訳等の日常的な交流支援を行うことで、円滑な都市間交流の維持、交流人口の拡大につながった。	
	費用対効果	高い					
財源		国・県支出金		起債	一般財源	計	
H27決算額(千円)					21,571	21,571	

その他・備考	
①	海外都市交流事業 平成28年5月には加賀市訪問団が桃園市を訪問し、友好都市協定を締結
②	インバウンド戦略事業 大台南国際トラベルフェア 来場者数:11万人 高雄国際トラベルフェア 来場者数:27万人 その他: 外国人旅行者の受入環境整備として、旅館など民間事業者が行うWIFI整備や外国語HPの制作、外国語表記の整備等の事業へ助成。市内30事業者で整備が進められた(補助額5,551,000円 うち、県1/2、市1/2)
③	国際力のある地域づくり事業 在住外国人への日本語教室 ※毎週土曜日、市民会館にて開催 外国人学習者数約30名 日本語指導ボランティア11名 外国語講座 英語講座(超入門 前期・後期 計19名、初級 前期・後期 計19名) 韓国語講座(超入門 前期・後期 計19名、初級 前期 計10名) ※平成28年度は新たにフランス語講座を開催
※ 財源の一般財源のうち9,374千円は国際交流基金からの繰入金	

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	観光	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	3. 「共創」環境の構築を進めます		
事務事業	①	三温泉観光誘客助成事業	
	②	芸妓活動支援事業	
	③	山代温泉観光地景観保全助成事業	

事業の概要及び実施状況

①	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">事務事業名</td> <td colspan="3">三温泉観光誘客助成事業</td> <td style="width: 15%;">整理番号</td> <td>F202</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3"> <p>三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業を見据えたソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合うアジアから選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。</p> <p>三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。</p> <p>また、北陸新幹線金沢開業戦略事業として、山代温泉観光協会での2次交通PR資料の作成、山中温泉観光協会での鶴仙溪 川床の魅力発信、片山津温泉観光協会でのテレビメディアを活用した情報発信・イベントの実施などの事業費に対して補助を行った。</p> <p>鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉(柴山温泉含む)の源泉管理者が行う、揚湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、山代温泉での鉱泉源の新規掘削の工事費に対して補助を行った。</p> </td> <td style="width: 15%;">H27決算額(千円)</td> <td>55,850</td> </tr> </table>	事務事業名	三温泉観光誘客助成事業			整理番号	F202	事業内容	<p>三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業を見据えたソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合うアジアから選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。</p> <p>三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。</p> <p>また、北陸新幹線金沢開業戦略事業として、山代温泉観光協会での2次交通PR資料の作成、山中温泉観光協会での鶴仙溪 川床の魅力発信、片山津温泉観光協会でのテレビメディアを活用した情報発信・イベントの実施などの事業費に対して補助を行った。</p> <p>鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉(柴山温泉含む)の源泉管理者が行う、揚湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、山代温泉での鉱泉源の新規掘削の工事費に対して補助を行った。</p>			H27決算額(千円)	55,850	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">内部評価</td> <td style="width: 15%;">有効性</td> <td style="width: 15%;">高い</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;">成果(総合評価)</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;">拡充</td> <td rowspan="2" style="width: 40%;"> <p>三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化を行うことができ、有効な事業である。</p> <p>また、鉱泉源の適切な管理・保護を推進することにより、温泉地として必要な源泉が安定的に供給されることから、有効な事業である。</p> <p>北陸有数の温泉地を抱える加賀市にとって、温泉は観光産業を持続させるための最も重要な資源であり、補助を行うことで温泉旅館等に源泉が安定供給されることから、十分な費用対効果を上げている。</p> <p>温泉が市内の温泉旅館等に安定供給されることにより、温泉地として必要な源泉を確保できており、十分な成果を上げている。</p> <p>平成27年度は、鉱泉源施設整備への助成を単年度事業として実施したが、平成28年度は、これを除く施設の維持管理への助成を継続させつつ、「温泉地の魅力づくり」や「情報発信の強化」における事業を拡充し、更なる観光誘客の促進を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td>費用対効果</td> <td>普通</td> </tr> </table>					内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	拡充	<p>三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化を行うことができ、有効な事業である。</p> <p>また、鉱泉源の適切な管理・保護を推進することにより、温泉地として必要な源泉が安定的に供給されることから、有効な事業である。</p> <p>北陸有数の温泉地を抱える加賀市にとって、温泉は観光産業を持続させるための最も重要な資源であり、補助を行うことで温泉旅館等に源泉が安定供給されることから、十分な費用対効果を上げている。</p> <p>温泉が市内の温泉旅館等に安定供給されることにより、温泉地として必要な源泉を確保できており、十分な成果を上げている。</p> <p>平成27年度は、鉱泉源施設整備への助成を単年度事業として実施したが、平成28年度は、これを除く施設の維持管理への助成を継続させつつ、「温泉地の魅力づくり」や「情報発信の強化」における事業を拡充し、更なる観光誘客の促進を図る。</p>	費用対効果	普通
事務事業名	三温泉観光誘客助成事業			整理番号	F202																					
事業内容	<p>三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業を見据えたソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合うアジアから選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。</p> <p>三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。</p> <p>また、北陸新幹線金沢開業戦略事業として、山代温泉観光協会での2次交通PR資料の作成、山中温泉観光協会での鶴仙溪 川床の魅力発信、片山津温泉観光協会でのテレビメディアを活用した情報発信・イベントの実施などの事業費に対して補助を行った。</p> <p>鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉(柴山温泉含む)の源泉管理者が行う、揚湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、山代温泉での鉱泉源の新規掘削の工事費に対して補助を行った。</p>			H27決算額(千円)	55,850																					
内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	拡充	<p>三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化を行うことができ、有効な事業である。</p> <p>また、鉱泉源の適切な管理・保護を推進することにより、温泉地として必要な源泉が安定的に供給されることから、有効な事業である。</p> <p>北陸有数の温泉地を抱える加賀市にとって、温泉は観光産業を持続させるための最も重要な資源であり、補助を行うことで温泉旅館等に源泉が安定供給されることから、十分な費用対効果を上げている。</p> <p>温泉が市内の温泉旅館等に安定供給されることにより、温泉地として必要な源泉を確保できており、十分な成果を上げている。</p> <p>平成27年度は、鉱泉源施設整備への助成を単年度事業として実施したが、平成28年度は、これを除く施設の維持管理への助成を継続させつつ、「温泉地の魅力づくり」や「情報発信の強化」における事業を拡充し、更なる観光誘客の促進を図る。</p>																					
	費用対効果	普通																								
②	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">事務事業名</td> <td colspan="3">芸妓活動支援事業</td> <td style="width: 15%;">整理番号</td> <td>F203</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="3"> <p>後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能及び温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。</p> <p>若手芸妓の芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円(年間60万円)を上限に支援を行った。また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用に対し支援を行った。</p> </td> <td style="width: 15%;">H27決算額(千円)</td> <td>1,717</td> </tr> </table>	事務事業名	芸妓活動支援事業			整理番号	F203	事業内容	<p>後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能及び温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。</p> <p>若手芸妓の芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円(年間60万円)を上限に支援を行った。また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用に対し支援を行った。</p>			H27決算額(千円)	1,717	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">内部評価</td> <td style="width: 15%;">有効性</td> <td style="width: 15%;">高い</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;">成果(総合評価)</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;">拡充</td> <td rowspan="2" style="width: 40%;"> <p>継続して支援することによって、現在1名の若手後継者が存続し、年々芸に磨きをかけている。また、新たに1名の芸妓後継者が増え、山中座の予約上演やお座敷の予約が増えるなどベテランの芸妓衆も含めた活躍の場が広がった。出向宣伝に同行するなど、加賀温泉郷の広告塔としても活躍している。</p> <p>今後は、ベテラン芸妓衆の技術向上に向けた活動に対しても助成するなど支援を拡充することで、温泉地の更なる魅力向上を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td>費用対効果</td> <td>高い</td> </tr> </table>					内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	拡充	<p>継続して支援することによって、現在1名の若手後継者が存続し、年々芸に磨きをかけている。また、新たに1名の芸妓後継者が増え、山中座の予約上演やお座敷の予約が増えるなどベテランの芸妓衆も含めた活躍の場が広がった。出向宣伝に同行するなど、加賀温泉郷の広告塔としても活躍している。</p> <p>今後は、ベテラン芸妓衆の技術向上に向けた活動に対しても助成するなど支援を拡充することで、温泉地の更なる魅力向上を図る。</p>	費用対効果	高い
事務事業名	芸妓活動支援事業			整理番号	F203																					
事業内容	<p>後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能及び温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。</p> <p>若手芸妓の芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円(年間60万円)を上限に支援を行った。また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用に対し支援を行った。</p>			H27決算額(千円)	1,717																					
内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	拡充	<p>継続して支援することによって、現在1名の若手後継者が存続し、年々芸に磨きをかけている。また、新たに1名の芸妓後継者が増え、山中座の予約上演やお座敷の予約が増えるなどベテランの芸妓衆も含めた活躍の場が広がった。出向宣伝に同行するなど、加賀温泉郷の広告塔としても活躍している。</p> <p>今後は、ベテラン芸妓衆の技術向上に向けた活動に対しても助成するなど支援を拡充することで、温泉地の更なる魅力向上を図る。</p>																					
	費用対効果	高い																								

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

	事務事業名	山代温泉観光地景観保全助成事業			整理番号	F204
③	事業内容	<p>山代温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上を図る。 萬松園、足湯、大堰宮公園園路、薬王院周辺及び園路、服部神社、薬王院温泉寺、真菰池休憩所、歌碑、女男生水周辺、県道小松山中線、ミニパーク内モニュメント、各種ライトアップ設備を対象施設として、除草、剪定、清掃、維持管理などの山代温泉観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成した。</p>			H27決算額 (千円)	3,485
	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	<p>環境整備や景観整備により、観光地における快適な空間の提供が行われており、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上が図られている。また、事業費のうち光熱費の3分の1以上、その他維持管理費の2分の1以上を地元地域に負担してもらうことで補助金額を抑えつつ、効果的に事業が展開され、十分な費用対効果を上げている。 事業実施にあたり、周辺観光施設(公共施設)の管理を本事業とあわせ一本化し合理化が図られているため、継続して支援を行う。</p>
	費用対効果	普通				
財源		国・県支出金	起債	一般財源	計	
H27決算額(千円)				61,052.0	61,052	

その他・備考

- ①-1 温泉地魅力創出・情報発信助成事業 山代温泉観光協会 11,485千円、山中温泉観光協会 10,612千円、片山津温泉 10,903千円を助成(前年度入湯税納入割等で配分額を決定) 合計33,000千円
- ①-2 鉱泉源保護施設維持管理助成事業 山代鉱泉宿営業組合 1,242千円、山中温泉旅館協同組合 806千円、片山津温泉旅館協同組合 952千円(前年度入湯税納入割等で配分額を決定) 合計3,000千円
- ①-3 鉱泉源整備助成事業(新規源泉の掘削及び汲み上げ・配湯施設整備) 山代温泉配湯事業協同組合 18,500千円
- ②芸妓活動支援事業 稽古にかかる費用 700千円、衣装・道具類にかかる費用 190千円、後継者育成にかかる費用 600千円、その他費用 10千円 合計1,500千円 山中温泉芸妓組合 現在7名の芸妓が所属
- ③山代温泉景観保全事業 萬松園栄螺堂、源泉公園、服部神社・薬王院、真菰池休憩所、総湯周辺照明設備、モニュメント・植栽樹木(ポケットパーク)、その他観光施設の維持管理及び景観整備にかかる費用に対し助成

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	4. 医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます		
事務事業	①	在宅医療介護連携推進事業	
	②	地域医療推進事業	
	③	医師招へい推進策事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	在宅医療介護連携推進事業			整理番号	A201	
	事業内容	<p>疾病を抱えても、市民誰もが自宅等の住み慣れた生活の場で療養しながら、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供することが必要である。このため、市が中心になって、医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を図ることで、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築する。</p> <p>平成25年度から医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護サービス事業者協議会、市内の病院、市で構成する「加賀市在宅医療連携推進協議会」を組織し、在宅医療の推進と医療・介護の連携推進の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀市医療センターの開院に併せ、地域連携部門に「医療と介護の連携に関する相談窓口」を設置し、在宅医療コーディネーターを配置して、専門職からの在宅医療にかかる相談を受け付け、サポートする体制とすることとした。 ・市民向けに在宅医療の周知啓発を実施した。 ・ICTを用いた医療と介護の連携体制の導入、実証について、医師会等と調整を進めている。 				H27決算額 (千円)	227
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	<p>団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えた地域包括ケア体制の構築を行うため、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要であり、市が中心となって、地域の関係機関の連携体制の構築を進めることから継続が必要と認める。</p>	
費用対効果	普通						
②	事務事業名	地域医療推進事業			整理番号	A206	
	事業内容	<p>平成27年度は、加賀市医療提供体制基本構想の推進に係る調査検討と地域医療の充実を図るため、地域医療審議会を開催した。審議会の意見や加賀市統合新病院建設計画検証委員会の答申を踏まえ、山中温泉医療センターの施設活用策及び医療提供体制が急激に変化する山中温泉地域の住民の不安の緩和策として、診療所を設置することとし、診療所の改修の基本・実施設計、4月開院に必要な最低限の改修工事を行った。また、指定管理者を地域医療振興協会とした。</p> <p>救急医療については、市内の救急医療の関係者で協議するため、救急医療懇話会を設置し、継続的に開催することとした。</p> <p>市民が主役となって医療を守る取組を進めていくために、市民向けの講演会、ワークショップを開催した。</p>				H27決算額 (千円)	24,757
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	<p>市の医療提供体制を中長期的に持続可能な体勢とするためには、加賀市医療センターの建設による急性期医療資源の集約にとどまらず、慢性期病院、診療所、介護サービスまでを含めた役割分担を行う必要があり、状態に応じた適切なサービスを提供する体制を整備する必要があることから、地域医療の推進事業の継続が必要と考える。</p>	
費用対効果	普通						

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

	事務事業名	医師招へい推進策事業				整理番号	A202
③	事業内容	<p>医師の派遣を受けている金沢大学・金沢医科大学・福井大学医局との関係強化のため、各科教授等との面談を年間を通じて実施した。また、加賀市にゆかりのある医師への訪問を実施した。その他として、市民の医療や病院に対する理解を得るための出前講座(まちあい室講座)の開催や、医学生が卒業後の臨床研修を受ける際に研修先に選んでいただけるよう医学生の受け入れを行った。</p> <p>なお、これら以外にも、医師の事務作業を軽減するための医師事務作業補助職員の増員を行う等、医師の勤務環境の改善を行った。</p> <p>さらに、学べる環境づくりのため、WEBでの医学書検索・閲覧環境を強化している。</p>				H27決算額 (千円)	2,085
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	本事業は、加賀市医療センターにおいて、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、医療の質の向上を図るために必要なことから、今後も拡充して継続する必要がある。	
	費用対効果	高い					
財源		国・県支出金		起債		一般財源	計
H27決算額(千円)		2,032		7,000	44	17,993	27,069

その他・備考

①在宅医療介護連携推進事業

- ・先進地視察(岡山市)、在宅医療介護連携の相談窓口の検討
- ・在宅医療に関する医療機関アンケートを実施
- ・ICTを用いた医療・介護情報共有推進モデル事業(県医師会事業)の実施
- ・加賀地区県民公開講座(県医師会事業)(1月:参加者128名)の開催
- ・かもまる講座で在宅医療の周知啓発(随時)の実施

②地域医療推進事業

- ・市民公開講座を開催(6月:参加者140名、9月:参加者111名)
- ・「加賀市の地域医療を守る条例」制定、施行(6月定例会:議員提案)
- ・地域医療ワークショップを開催(11月:参加者32名)
- ・地域医療審議会を開催(8月~3月:4回)
- ・加賀市救急医療懇話会を実施(2月)
- ・山中温泉医療センター跡施設での診療所設置について、山中地域の住民への説明、意見交換、報告の会を開催(7月~3月:8回) 診療所の基本設計、実施設計、準備工事を実施(11月~3月)
- ・かもまる講座で条例等の周知啓発(随時)の実施

③医師招へい推進策事業

- ・27年4月 医師事務作業補助体制加算 40:1→30:1
- ・28年2月 " 30:1→25:1
- ・27年度医学部生の地域医療臨床実習の受入れ(3名)
- ・訪問、面談を継続的に実施した結果、28年4月から加賀市にゆかりある医師を1名招へいする事が出来た。

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	5. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます		
事務事業	①	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）	
	②	地域介護予防支援委託事業	
	③	高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）			整理番号	A301
	事業内容	<p>介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」)を国が早期移行を進めたこともあり、予定していた平成28年4月より1か月早めて、3月から開始した。事業開始にあたり総合事業検討会を開催し、加賀市での総合事業の在り方の骨子を定め、サービスの在り方、具体的な移行についても検討した。</p> <p>また、開始前に、サービス利用者、介護保険事業所、市民に対し周知した。従来の介護予防通所介護、介護予防訪問介護をそれぞれ通所型サービス、訪問型サービスとして内容を変えずに実施することで、利用者が混乱せずに利用できる体制で実施した。サービス利用時のマネジメントについては、本人が望む暮らしの継続のためのあり方を、支援を担当している職員だけでなく、外部有識者も交えて検討する体制を試行した。さらに、平成28年度中に実施予定の家事支援サービス及び基準緩和型サービスについて検討を行った。</p>			H27決算額 (千円)	2,830
②	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	拡充	<p>総合事業検討会で骨子を定めたことで、加賀市としての総合事業の在り方が明確になり、本人の生活に視点・住民主体・地域ごとの実践・サービスとマネジメントは一体的なもので切り離して考えない事を重視して事業展開をしていくという方向性が明らかになった。また、その骨子に基づいたマネジメントの在り方を確認する目標設定会議の体制を整備できた。</p> <p>総合事業の開始にあたっては、サービス利用者、市民、サービス提供事業者やケアマネジャーに周知を実施し、利用者の混乱はなかった。ケアマネジャー等が制度に慣れていないための問い合わせ等はあった。</p> <p>さらに、平成28年度中に家事支援サービス及び基準緩和型サービスについて検討を行い、家事支援サービスについては平成28年4月から実施している。</p>
		費用対効果	普通			
②	事務事業名	地域介護予防支援委託事業			整理番号	A307
	事業内容	<p>地域住民の参加と協力のもと、家庭に閉じこもりがちな高齢者などに対して、各種サービスを提供することにより、孤立感の解消や、寝たきり、認知症予防を推進し、高齢者の自立生活の継続を図ることを目的とする。</p> <p>また、「寝たきり・認知症予防」「自立生活の維持」(介護予防)の活動を通して、「地域でのより良い関係作り、隣近所による見守り、支え合い」に向け、高齢者同士の相互支援となることを目的とし、実施する。</p> <p>社会福祉協議会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による地域おたっしやサークル(介護予防型・サロン型・支援型・事業所協同型)への活動運営助成 ・地域おたっしやサークル団体への無料定例講師派遣(介護予防に資する内容を含め年10回を上限) ・地域おたっしやサークルリーダー連絡会及びリーダー研修会 ・住民主体を主軸とし、地域に根ざした切れ目ない活動を展開できるような「活動協力費」を全サークル対象に運営助成 ・支援が必要な地域おたっしやサークルへ指定をうけた介護保険事業所が介入する強化事業の実施 ・新たにサークルを立ち上げたい町に対し立ち上げ支援として、介護予防教室の実施 			H27決算額 (千円)	18,290
②	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	<p>国は65歳以上の高齢者の概ね10人に1人の割合の高齢者が、地域での予防活動の場所に参加することを目指しており、加賀市としても、10%と概ね10人に一人は登録できている状況である。</p> <p>地域おたっしやサークルは、介護予防の推進のみならず、地域住民による自主的な運営により、高齢者のいきがいや社会参加の場にもなりつつある。何日か欠席が続いた場合にはサークル内で連絡を取り合うなど、見守り機能の一助も担っている。</p> <p>今後も、高齢者の社会参加の場や居場所・出場所の中核として地域おたっしやサークルに期待する部分は大きく、市としても、設置箇所数や参加者の増加やサークル運営の定着を委託先とともに進めていく。</p>
		費用対効果	普通			

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

③	事務事業名	高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業			整理番号	A308
	事業内容	<p>地区民生委員児童委員及び区長等の地域住民の協力のもと、孤立解消及び閉じこもり予防としてふれあいの集いを開催し、高齢者の福祉の向上に資することを目的とする。 また、地域でのひとり暮らし高齢者サポート体制の構築を図る。</p> <p>地域の高齢者の状況を把握している民生委員児童委員だからこそ、その地域の実情にあった、効果的な集いの開催ができると考えられ、この集いをきっかけに訪問につながり、生活状況の実態から生活課題の把握をし、必要な支援につなげることができる。</p> <p>9地区民生委員児童委員協議会が主体となって、地区会館及び公共施設等この事業を適切に実施できると認められる施設において、教養講座(介護予防、認知症予防、健康づくり等のテーマ)、高齢者に適した軽体操等の実技、栄養改善に資する食提供、座談会など本事業の目的に即した内容での集いを地区協議会で開催している。</p> <p>ひとり暮らし高齢者と、民生委員児童委員や地域住民が顔見知りになるきっかけや、交流する場になっている。</p>			H27決算額 (千円)	830
	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	<p>加賀市民生委員児童委員協議会に委託し、地区の状況に応じて実施しており、地域の取り組みとして根づいている。</p> <p>ひとり暮らし高齢者が閉じこもり予防や介護予防等の必要性を認識する機会となり、民生委員児童委員が身近に相談できる存在であることを伝え、集い開催以降も困りごとを気軽に相談してもらうきっかけとすることができており、地域における見守り支援につながっている。</p> <p>また、民生委員児童委員は相談対応の中で、必要時、相談内容に応じて、地域包括支援センターなどの相談機関と連携している。</p>
		費用対効果	普通			
	財源	国・県支出金		保険料等	一般財源	計
	H27決算額(千円)	5,603		13,546	2,801.0	21,950

その他・備考

- ①介護予防部会(総合事業検討会)(H27年度実績)年4回開催
ケアマネジメントあり方ケース検討数 (H27年度実績) 42人
- ②地域介護予防支援委託事業(地域おたっしやサークル)
介護予防型: 51箇所、サロン型: 15箇所 計: 66箇所(平成28年度現在)
- ③高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業(H27年度実績)
実施地区 9地区
年間22回開催
ひとり暮らし高齢者参加者数 578人(対象者52,151人:参加率11.1%)
主な内容: 教養講座、軽体操、栄養改善に資する食提供、座談会等

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	6. 健康な心と体の育成(重点)		
事務事業	①	こころの健康づくり対策事業	

事業の概要及び実施状況

事務事業名	こころの健康づくり対策事業				整理番号	C204(重点)
事業内容	<p>「こころの健康づくり」に関する知識の普及を図ることで、心の病気に関して理解、対応できる市民を増やし、平成28年度までに、市の自殺死亡率の減少達成値を、平成17年自殺死亡率30.9(人口10万対:衛生統計年報)から20%以上減らすことを目標とする。</p> <p>普及啓発として、9月の自殺予防週間に合わせ、講演会の開催や街頭キャンペーンにて、こころの健康に関する相談窓口の紹介や理解を深めるためのリーフレットや啓発グッズを配布した。さらに、強化月間の3月には、広報で相談窓口やゲートキーパーの役割について周知を図った。また、自殺予防に関する知識を深め、傾聴などの行動ができる市民を増やすためのゲートキーパー出前講座を地域の団体等を対象に実施している。</p> <p>相談体制としては、随時、保健師によるこころの健康づくり相談を開設しており、広報で毎月掲載し、周知を図っている。また、必要な方には臨床心理士による専門相談や、専門機関に繋げるなどの体制をとっている。</p>				H27決算額(千円)	137
① 内部評価	有効性	普通	成果(総合評価)	継続	<p>本市の自殺死亡率(人口10万対:衛生統計年報)は、平成26年25.2が平成27年は19.3(警察庁自殺統計データ)と減少した。ただ、県や全国のと比べると、まだ、高い状況ではある。</p> <p>平成27年度は前年度と同様、こころの健康づくり講演会(参加者数152名)や自殺予防キャンペーン(相談窓口チラシ500セット配布)等を行なった。講演会や相談窓口のチラシの配布等を実施し、市民に対し自殺予防やこころの健康等についての正しい知識の普及を図るため、継続することが重要である。</p> <p>相談窓口として健康課における保健師による「こころの健康相談」は、延べ54件と年々増加している。必要時に、臨床心理士のカウンセリングや医療機関につなぎ、より専門的な対応をしている。また、情報共有のための「つなぐシート」を活用し、関係者の連携を図り、悩みや困難を抱える人に対し、適切かつ、きめ細やかな相談を行うことで、住民の悩み等の軽減を図っている。</p> <p>人材養成事業として、地域住民と接する機会の多い保健推進員や民生委員、看護学生等が自殺予防に関する知識を高めることで、自分自身や心身の問題を抱えている家族や地域住民に対し、早期発見し、適切な行動や関わりが出来る市民を増やしている。</p>	
	費用対効果	普通				
財源		国・県支出金	起債	一般財源	計	
H27決算額(千円)		95	0	42	137	

その他・備考

- ①対面型相談支援事業・・・自殺予防のための相談・支援を充実するために、専門的で決め細やかな相談・支援を行なう。
1. 臨床心理士と保健師による「加賀市こころの健康づくり相談」を開設する。 臨床心理士 3回 71,500円
旅費 3,280円
 2. 「つなぐシート」等を活用し、関係機関等と連携し相談対応を行なう。
- ②人材育成事業……………
1. 地域の団体等を対象にゲートキーパー出前講座を実施する。
 2. 事業担当者のスキルアップを目的とし、研修会に参加する。
- ③普及啓発事業……………
1. 自殺予防週間に街頭キャンペーンを実施する。
 2. 自殺予防週間の9月に併せて講演会(生活習慣病予防セミナー こころの健康づくり)開催する。
臨床心理士 11,000円
旅費 820円
 3. 相談窓口に相談窓口等紹介チラシを設置する。 啓発用ティッシュ・パンフ等 49,960円
- * 平成28年度は、若年者に向けた自殺対策のチラシを作成・配布し、関係機関連絡会を実施する。

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	自然環境	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	7. 「ガーデン・シティ構想」を進めます		
事務事業	①	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	
	②	クリーンビーチ・インかが開催／海岸清掃助成事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業			整理番号	G101
	事業内容	<p>市・市民・事業者が一体となって、ごみのポイ捨て、飼い犬・飼い猫のふんの放置、路上喫煙のない、観光都市加賀市の美しいまちづくりを推進し、良好な生活環境を確保することを目的としている。</p> <p>市民等への意識啓発を図るため、平成27年度より10月を「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」と定め、10月に「ポイ捨て防止」の街頭啓発(市内中学校の協力によりスーパーマーケットで啓発ティッシュと花の種を配布)及び条例に基づく「ポイ捨て等防止重点区域」に指定している加賀温泉駅前周辺の清掃を市民ボランティアにより実施している。</p> <p>また、年間を通じて、加賀温泉駅前周辺と市内三温泉の総湯周辺における啓発、調査、ごみ回収業務をシルバー人材センターに委託し実施している。加えて、平成28年2月より、(株)まちづくり加賀に、キャンパス内で「ポイ捨て防止」の音声アナウンスを依頼している。</p>			H27決算額(千円)	301
内部評価	有効性	普通	成果(総合評価)	継続	<p>観光都市加賀市の玄関口である加賀温泉駅前を市民ボランティアの手で清掃することで、市民の環境美化意識や観光客への「おもてなし」の心が養われている。</p> <p>また、継続した啓発活動や中学生の街頭啓発により、加賀温泉駅前周辺で確認されたポイ捨て等の発生件数が減少しており、今後の美しいまちづくりの推進に向けた役割を果たしている。</p> <p>今後も事業を継続していく必要がある。</p>	
	費用対効果	普通				
②	事務事業名	クリーンビーチ・インかが開催／海岸清掃助成事業			整理番号	G102
	事業内容	<p>市内の海岸において市民ボランティアによる一斉清掃を行う「クリーンビーチ・インかが」を開催することで、海岸の自然環境の保全と市民のボランティア意識の高揚を図っている。</p> <p>また、地区区長会等が地区内の海岸の清掃活動を行う際に補助金を交付することにより、地区住民による自主的な海岸清掃を促されるとともに、海岸の環境保全が図られている。</p> <p>「クリーンビーチ・インかが」については、例年6月に塩屋海岸から新保海岸までの各海岸において実施している。平成28年度は、6月19日(日)に実施し、約6.7トンのごみを回収した。</p> <p>「海岸清掃助成事業」については、塩屋町と片野町が自主的に実施する海岸清掃活動で環境美化センターへのごみの搬入車両の借上げ料を助成している。</p>			H27決算額(千円)	814
内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	継続	<p>多くの市民が参加することで、海岸に大量のごみが漂着している現状を認識する機会となるとともに、市民のボランティア意識の向上につながっている。</p> <p>また、ボランティアによる人海戦術で短時間のうちに大量のごみを回収できることから、費用対効果が非常に大きいものとなり、今後も継続が必要である。</p>	
	費用対効果	高い				
財源		国・県支出金	起債	一般財源	計	
H27決算額(千円)				1,115	1,115	

その他・備考

- ①ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業
 平成27年10月25日(日) 加賀温泉駅前周辺清掃を開催 参加者246名 ごみ回収量330キログラム
 平成28年10月30日(日) 加賀温泉駅前周辺清掃を開催
- ②クリーンビーチ・インかが開催／海岸清掃助成事業
 平成27年6月21日(日) クリーンビーチ・インかがを開催 参加者2,400名 ごみ回収量約9.8トン
 平成28年6月19日(日) クリーンビーチ・インかがを開催 参加者2,200名 ごみ回収量約6.7トン

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	自然環境	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	8. ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます		
事務事業	①	ラムサール条約登録範囲拡大事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	ラムサール条約登録範囲拡大事業			整理番号	G201	
	事業内容	<p>平成22年のラムサール条約登録湿地候補地検討会(環境省)において、大聖寺川流域から柴山潟周辺地域が、片野鴨池と一体的に保全していくことが望ましい周辺水田の事例として示されたことを契機として、片野鴨池に飛来するカモ類の重要な採餌場である柴山潟と周辺水田の環境保全を図り、同条約登録湿地の範囲拡大に向けた取り組みを推進する。</p> <p>平成27年度は、採餌環境の保全施策として、大聖寺下福田町や柴山潟町の農業者グループを対象に、同地区水田でのふゆみずたんぼの一層の取組を促すとともに、農薬と化学肥料の使用を削減した環境保全型農業の技術指導による栽培米の付加価値の向上と、販路拡大の支援等を行った。</p> <p>また、ラムサール登録湿地候補地の要件として、同地域が鳥類の一定数以上を支える環境であること評価する指標として、5年以上の継続的調査が必要であるため、柴山潟および周辺水田に採餌のため飛来するコハクチョウを含めたカモ科鳥類の生息調査を、11月上旬から3月上旬にわたり行った。</p>				H27決算額(千円)	9,225
	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	<p>環境保全型農業による化学肥料等を抑制した栽培米に、市場での付加価値が高まり、営農意欲が向上し、次年度の実施面積の拡大と、採餌環境の保全につながる「ふゆみずたんぼ」継続と拡大に効果がある。</p> <p>また、鳥類生息調査においては、柴山潟干拓地周辺で1,000羽以上のコハクチョウが観察されているが、ラムサール条約登録湿地の候補地選定要件においては、5年以上の継続した調査データが必要があるため継続した調査を行っていく。</p>	
		費用対効果	普通				
	財源	国・県支出金		起債	一般財源	計	
	H27決算額(千円)	8,993			232	9,225	

その他・備考

(事業の背景)

- ・平成20年のラムサール条約湿地国際会議において、水田の持つ生物多様性保全上の役割に着目した「水田決議」が採択され、ラムサール条約湿地の登録に関する新たな評価軸が加わった。
- ・平成22年のラムサール条約登録湿地候補地検討会(環境省)において、周辺水田を有する既登録湿地の事例のひとつに、大聖寺川流域から柴山潟周辺地域が、片野鴨池と一体的に保全していくことが望ましい周辺水田として示された。

(関係機関への働きかけ)

- ・石川県に対し冬期湛水管理(石川県の環境保全型農業直接支払交付金申請に係る地域特認取組)の要件緩和を要望した。

《環境保全型農業指導の主な項目》

- ・採餌環境の向上策の実施(冬期湛水(ふゆみずたんぼ) 約20ha、カモ類の餌となる屑米の散布等)
- ・環境保全型農業の推進体制の構築(環境保全型農法グループの立ち上げ:2地区13名、地区営農者の実情に応じた農法の検討等)
- ・環境保全型農業認証制度の構築(化学肥料等を要請した農法の認証基準の策定等)
- ・環境保全型農業の栽培技術の指導(ワーキング、勉強会、現地研修・指導、栽培仕様書作成等)
- ・農業就業者の処遇改善支援(パンフレット等の販売促進ツール、栽培米の商標登録、首都圏での販路拡大等)

《カモ科鳥類の生息調査の主な項目》

- ・調査期間:11月上旬~3月上旬(15日)
- ・調査地域:柴山潟、柴山潟干拓地及び動橋川下流域等の水田
- ・柴山潟の優先種:マガモ(最大羽数6,116羽)
- ・柴山潟干拓地のコハクチョウの最多羽数は、1,540羽

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	教育	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	9. 生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます		
事務事業	①	加賀温泉郷マラソン開催事業	
	②	スポーツ推進計画策定事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	加賀温泉郷マラソン開催事業				整理番号	H201
	事業内容	<p>マラソンを通じて、加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国発信する機会とするとともに、老若男女が楽しみ、交流を深めることにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。</p> <p>スポーツ振興と同時に観光振興にも貢献するため、大会名を「加賀温泉郷マラソン大会」と改名して実施したH25の2013大会は、参加者から高い評価を得た。しかし、当初予算を大幅に超える支出や、交通渋滞の発生など多くの課題が残り、それらを精査・検証するため、H26の大会は中止とした。その後、2013大会の内容を精査・検証したうえで、コースの変更、運営体制・予算の見直しを行い、平成27年4月19日に、中止後の再開となる2015大会を開催した。また、大会終了後以降は、H28の2016大会の開催準備を行った。</p>				H27決算額(千円)	55,894
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	<p>市内外への大会のPRを積極的に行うことにより、目標を上回る参加者数の確保が達成できた。また、2013大会の課題を検証し、コースの変更による交通渋滞の解消を図るとともに、エイドステーションの設置内容の見直しや、市民挙げての応援の呼びかけなどを行った結果、参加したランナーからは高い評価を得ることができた。</p> <p>以上のことから、今後も継続が必要と認める。</p>	
		費用対効果	普通				
②	事務事業名	スポーツ推進計画策定事業				整理番号	H202
	事業内容	<p>アンケートを通じて得た市民や地域及び各競技団体など体育施設を利用している様々な分野からの意見と、公共施設マネジメントのデータを基に、生涯スポーツ・競技スポーツの振興、スポーツ施設の整備・拡充及び活用・統廃合、学校体育との連携、スポーツツーリズムの推進等の目標を概ね10年前後に設定し、具体的な方針及び数値目標を示す。</p> <p>市民アンケート調査結果と市の公共施設マネジメントの方針及び多目的広場の新設や既存施設の統廃合を含めた利用促進の調査、分析内容を加味し、計画案を作成した。その後、4回にわたるスポーツ推進審議会の審議を経てパブリックコメントを実施し、教育委員会、市議会での審議を経て、計画を決定した。</p> <p>年度末には広報かが3月号の特集記事にてその概要を掲載し、広く市民に周知した。</p>				H27決算額(千円)	2,213
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	廃止	<p>スポーツ推進計画の策定過程において、体育施設や体育行政全般について、市民、地域、競技協会から貴重な意見、要望を得ることが出来た。また、今後のスポーツ振興のための方向性を打ち出すことが出来た。</p>	
		費用対効果	高い				
財源		国・県支出金		起債		一般財源	計
H27決算額(千円)		0		0		58,107	58,107

その他・備考

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	教育	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	10. 地域の文化の高揚(重点)		
事務事業	①	文化財の適正管理	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	文化財の適正管理				整理番号	D112
	事業内容	貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てるため、歴史文化資産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。 業務内容としては、 (1)光熱水費 計6施設(埋蔵文化財収蔵庫、法皇山収蔵庫、歴史民俗収蔵庫、九谷磁器窯跡史跡公園便所、旧菅良家住宅、あいおすふれあい広場) (2)管理委託費 ①法皇山横穴古墳管理委託費(シルバー人材センター:収蔵庫受付、園内清掃)(専門業者:トイレ清掃業務、し尿浄化槽管理) ②九谷磁器窯跡史跡公園便所等委託費(シルバー人材センター:清掃) ③その他諸経費(専門業者:白山麓の山村民家消防設備点検業務、第2埋蔵文化財収蔵庫ガスエアコン点検業務) (3)その他管理費 ①指定史跡等清掃委託費「加賀市」が管理者である国または市指定の4か所(法皇山横穴古墳、狐山古墳、篠原のキンメイチク、玉造遺跡) ②管理用消耗品費 施設の清掃用品購入 ③建物保険、館蔵品(寄託品含む)保険、第2埋蔵文化財収蔵庫電話料 (4)維持補修費 狐山古墳収蔵庫の庇の修繕				H27決算額(千円)	2,690
	内部評価	普通	成果 (総合評価)	継続	貸出や閲覧の希望もあるため、今後も適正な管理を行う。		
	費用対効果	普通					
	財源	国・県支出金		起債	一般財源	計	
	H27決算額(千円)	0		0	2,690	2,690	

その他・備考

指定史跡等清掃委託費内訳金額
 法皇山横穴古墳10万円、狐山古墳 5万円、篠原のキンメイチク5万円、玉造遺跡1.6万円